

平成 28 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

障害福祉サービス多機能型事業所

奥戸福祉館

I 運営全般

1 運営総括

今年度は1名の入所で生活介護事業所が31名就労継続B型事業所が29名の合計60名でスタートした。1名が法人雇用のメッセンジャーボーイとして就職し生活介護事業所30名就労B型事業所が29名の59名だった。

作業面では7月に新しいオーブンを導入したことにより大量にパンが焼けるようになった。販売のチラシ配り、秋の販売シーズンでは休日、夜間の販売会にかけもちで2階軽作業の利用者も参加し販売活動を行った。営業にも利用者と一緒に保育園等いき新規の納入先を確保することができた。

パンに携わっている利用者は年々パンに対して働くことに誇りを持ってかかわってくれるようになってきた。

特に11月19,20日の土日のフードフェスタの販売会では福祉館を開所日とし全館上げて利用者も職員も積極的に取り組むことができた。

軽作業グループの利用者もパンの販売に行く機会や寮清掃やチラシ配り等外へでの活動が増えたこと、利用者にまかせることを増やしたことなどから昨年度より、働くことに意欲的でやりがいをもって取り組むことが出来たと思う。

2年目となる掃除、洗濯作業はきこの寮の掃除が1カ所増え積極的にとりくんでいる。清掃技術の向上の為、水元小合学園、ビルメンテナンス協会の講師の方の指導を受けた。利用者へ清掃作業を教える統一的なやり方を確立し施設外就労をめざす足がかりとした。

利用者のチーム毎のリーダー制は、給食配膳グループだけ行う事が出来た。午後の片付けは職員なしで利用者だけで行う事が出来ていた。

FVPのコンサルトのアドバイスをうけ毎月1回全職員で工賃向上に向けての話し合いをもった。作業の整理を行い来年度は給食配膳の作業、軽作業(受注作業)を廃止し企業のOEMとしてマクロビオティッククッキーを生産することになった。

夏休みに子供向け「パン教室」、ガイドヘルパー利用の休日の外出、グループ外出、シルバー外出、地域清掃、パン販売活動、リサイクル活動、チラシ配り等地域社会へ積極的に参加した。

利用者関係では個別支援計画を作成したが、作成するのに時間がかかり中間見直しが出来なかった。また計画書を意識した支援や実践が難しかった。

利用者は長期の入院が1名、特定の利用者同士のトラブルが絶えず、長年一緒に行ってきた朝礼を階毎に別々に行うなど環境を変えたり対応に追われることが多い一年だった。

今年度新たな取り組みとして誕生月に寮生のお宅へ夜担当職員が訪問した。

年度途中1月より職員二人が異動になりまた新規事業立ち上げもあり従来の職員配置より職員が少ない中で活動を行った。福祉館内の住環境を変えたり慌ただしく落ちつかなかったが利用者職員の協力の下活動については従来通り行う事が出来た。

職員教育については新人職員にはOJT、法人主催のフォローアップ研修、主任研修、外部の研修も積極的に参加した。新規事業立ち上げのための施設見学も行き他施設からたくさん学ぶことが出来た。また1人1人に育成計画作成、中間見直し、職員面談を行った。

II 利用者支援

I 事業活動 奥戸福祉館全体平均工賃 21,821 円 (21,593 円)

(1) 就労継続B型事業所 月平均工賃 27,880 円 (25,588 円)

食品製造販売グループ

【パン製造販売】

パン製造作業では、利用者一人ひとりの特性を発揮できる配置、利用者主体で携われる環境を作り、それぞれの役割に責任をもって取り組めた。

新しくオーブンを購入し、焼成量を大幅に向上させた。また、生産量を増やす為、設備の増設や工房のレイアウトの見直しを進めた。材料の高騰を受け、原価の見直しを行い、価格改正を行った。

レンタル白衣を導入し、衛生面の向上を整えた。

授産会議を開き、新商品の開発・製造内の見直し等話し合いをした。表示シール、HACCPの業務に関して並行して行っていく。

販売活動では、今年度より企業1社に毎週販売が定着し、保育園5園に納品を行った。

南葛SCの試合イベントや、葛飾総合スポーツセンター、水元スポーツセンターで定期的に販売会を行った。

また、11月に新小岩フードフェスタに出店し過去最高の売り上げを更新した。

今年も地域イベントに積極的に参加し、秋から利用者職員共に連日休日出勤・早出・残業をし、また軽作業グループには、配達やチラシ配り・販売と全体的に協力を得て福祉館一丸となって取り組んだ。地域周辺の保育園・学校関係に協力販売をお願いした。

広報活動では地域へのチラシ配りを積極的に行い、ブログも活用しアピールした。

売り上げが見込める販売会は大入り袋を支給し、忙しい中でも利用者自身が達成感と満足感を感じてもらえた。

60歳以上の利用者が数人所属しているが、今後若い利用者の育成、適正、障害特性を活かした作業提供、働くことの意味を伝えていきたい。

地域交流として子供、保護者を対象に福祉館でパン製造の体験を行った。

大手旅行会社1社に2回販売に行ったが、売り上げが見込めない為販売継続を断念した。

コンサルタント関係では事務作業の効率化を図るため洗い出しを行った。利便性の高さ、細かい注文への柔軟な対応から顧客を確保してきた経緯もあり、注文の内容が複雑になっている。そのため、容易に事務作業を効率的に行うことが困難と判断された。今後は電子機器を活用し、手作業での負担を減らせるようすすめていく。

○ (目標 2250 万) 売上実績 **22,583,430 円** 昨年度 19,499,715 円 *308 万 U P

S B B 5,821,500 円 (5,742,000)

プラスチック 2,241,631 円 (2,280,842)

保育園等給食用 3,588,477 円 (2,869,989)

学童クラブおやつ用 291,961 円 (391,381)

ももちゃん 1,164,568 円 (1,081,410)

ぱぱす販売 506,987 円 (652,870)

ミモザ販売	209,070 円	(383,765)
定期食パン	727,635 円	(894,760)
協力販売	239,420 円	(219,700)
第一、明治、新生	569,405 円	(727,655)
東急ストア	497,570 円	(439,885)
ビバホーム	235,780 円	(74,440)
南葛SC	392,930 円	
販売会など	4,193,395 円	(2,450,366)
やまもも謝礼	179,300 円	(201,544)
イトーヨーカドー	164,363 円	
その他(特別注文)	1,559,438 円	(1,089,108)

*イベントでの販売車使用の数は昨年度より倍以上になった。

【給食配膳作業】

給食配膳作業では、7月中旬より製造の利用者が11:00～11:50に配膳作業に入ること
で昼食の提供が遅れることが少なくなった。また、無駄な作業工程を省くことで効率良
く作業を行うことができた。

1月から担当職員の変更や食堂のレイアウト変更、2階へ配食したりと従来のやり方
を大幅に変更したが特に問題なく時間通りお昼の提供が出来た。

午後は利用者中心で片付けを行い職員は最終点検のみでできた。食堂をパン販売の作
業室にするため3月23日より配膳作業をやめシャインより配食してもらっている。

○給食配膳手数料(目標 146万) **1,326,645 円** 昨年度 1,471,016 円 14.4万円↓

【食品グループ全体】

月に1回の衛生・販売マナー等のテーマに沿い職員・利用者で考えた講座を取り入れ、
また外部講師を招き、健康・身だしなみ・衛生・接客マナーの講座を企画し作業や生活
に役立つことを学び意欲向上を図った。

毎日、手洗い・定期清掃・爪・白衣・体調のチェックを行い、休憩時間にラジオ体操
を実施、各グループで月1回話し合いを持ち目標をたてた。

就労関係では、1名が短時間勤務している会社に現在も安定して仕事を行っている。

実習希望のある利用者がパン製造販売・給食配膳にて実習を行った。

地域生活支援

①自立生活訓練：立石寮を利用し地域生活体験やGHへの見学を実施。福祉館の利用
者が住んでいる場所をみることで地域生活のイメージがつきやすく、
今後の生活についての選択肢を増やす事が出来た。

レスパイト：7名 見学：3名

3名の利用者が入寮希望リストに入り待機中。

②社会体験：社会福祉法人 にじの会 ワークショップハーモニー 就労継続A型
(7月26日・8月2日・8月3日)

作業の様子や商品の説明を聞き、接客態度や衛生面、パンのアイデアなどの刺激を受け働く意欲につなげる事ができた。

③外部講習：衛生講座(12/13) お金講座(12/20) 健康講座(2/20)

(2) 生活介護事業所 ◇月平均工賃 16,234円 (18,016)

今年度は7月に入館者1名、グループ異動者2名の計37名でスタートし、3月に法人雇用で1名が就職し36名だった。

奥戸福祉館は「働く場」であることを基礎に利用者の個性、ニーズや思いを大切に日々の活動を行った。

利用者心得の「働くことに誇りを持つ」とについての教養講座や2度の学習外出を経て技術向上や働く意識の向上に努めた。また作業とのメリハリをつけるために創作活動や高齢者を対象とした外出をした。

利用者関係では7月に入館した利用者が9月より寮で問題があり精神病院へ入院し、1月26日退院した。また今後の対応について11月にケース会議を行った。

作業では特定の利用者同士のトラブルが続き事故が2件あった為環境を整えたりラジオ体操や午後休憩を廃止し試行錯誤を行った。

なるべく利用者自身が自分で完結できるように働きかけ、アルミ缶つぶし、藤和照明はほぼ利用者のみで完結できるようになった。

清掃洗濯事業での寮清掃は清掃場所が1カ所減り1カ所増え、マニュアル化を進め繰り返していく内に利用者自身の技術向上とやる気が高まった。館内清掃については人の固定化は出来ているがやり方が確立されず教える時間も十分に持てず任せっきりになってしまった。洗濯については行程、やり方の整理をしたが任せられる人も少なく出来る人も限られていた。外部への営業は行えなかった。

ウエス作業は仕入れ値を減らすことに努め、チラシ配りの効果で近所からの提供や企業よりタオル類を頂けた。メリヤス類は未だに買取りで仕入れを行っている。また新規で2件注文があった。受注作業を今年度で全て廃止することが決定しウエスを中心で行っていくため仕入れ値の削減は課題である。

ばど、京成不動産、パン、ウエス、アルミ缶のチラシ配りを様々な利用者が外にでて運動もかねてたくさん配った。

作業苦情として旧NYAより1件、かわら版より2件と受注作業に対する引継ぎと意識の甘さが目立った。

チラシ配りや販売会への参加、配達などパングループとの協力も利用者、職員に関わらず積極的に行った。

○(目標 380万円) 売上実績 4,413,642円 昨年度実績 4,388,283円 *2.5万UP

①受託作業（目標 300 万） 3,445,621 円 （昨年度実績 3,356,191 円）

- ・清掃洗濯 2,237,458 円 ・クッキー 87,030 円
- ・白子 383,282 円 ・藤和 178,009 円
- ・チラシ 131,107 円 ・かわら版 268,490 円
- ・その他 160,245 円

②自主生産（目標 80 万） 968,021 円（昨年度実績 1,032,092 円）

- ・ウエス 644,646 円 （702,260 円）
- ・アルミ缶 171,075 円 （140,070 円）
- ・お茶 138,130 円 （148,870 円）
- ・その他 14,170 円 （40,892 円）

○地域生活支援

- ・立石寮を利用して地域生活体験を実施。バス利用の取り組みも含めた訓練を行った。実施人数 5 名。

○作業外活動

①体力作り

- ・毎日 13:00～ラジオ体操を実施していたがやっている人が少なく 1 月 17 日より廃止した。
- ・看護師による機能訓練を 5 名行い 12 月 5 日に P T による見直しを行った。
- ・ウォーキングを兼ねた月 1 回の地域清掃、チラシ配りを積極的に行った。

②教養講座

- ・毎月、話し合いを実施。月間目標をたてみんなの集まりで発表した。
- ・利用者心得の「働くことに誇りを持つ」に重点を置いた講座を実施（7/29）
- ・学習外出として 6 月 14 日には江戸川区就労支援センターにてきこ栽培の見学を行った。東京都立水元小合学園へは 9 月 21 日に見学に行き、10 月 5 日に教師 2 名が来館し 1 月にビルメンテナンス協会の方 3 名より清掃作業について指導をうけた。

③余暇活動

- ・お花見外出（4 月 6 日）
- ・ベランダにアサガオを植え緑のカーテンとした。
- ・創作活動を実施。鯉のぼり、七夕などを作成し玄関先に飾った。
- ・高齢者を対象としたシルバー外出を実施。実施回数 3 回

2 余暇支援（グループ外出）

利用者の希望を聞き、行ってみたい場所、関心が高い場所の外出の企画を行った。作業グループ以外の利用者や職員との交流や、普段の日中活動のリフレッシュも兼ねる時間となり楽しく過ごす様子がみられた。企画も利用者の希望をきき、10 人前後のグループで利用者と職員で話し合いをした。お知らせ等も利用者が作り、職員はそのサポートを行った。

11月に外出を企画したがパン繁忙期と重なった為1～2月に変更した。来年度は秋の時期をさけた外出企画が必要である。

3 就労援助

R. Hさんはマクドナルド新小岩北口店での短時間就労を継続している。8月4日に職場訪問をした。真面目に働いており店としても助かっているようだった。パートタイム契約が株式会社ハッピーデイズから有限会社田中に変更となった。

西水元福祉館の清掃業務に就労したY. Eさんは就労継続が難しくなり今年度4月より就労移行事業フォレストのジョブコーチを受けて作業時間、作業内容の整理、道具の使用法など変更した。しかし定着出来ず3月末で退職となってしまった。

S. Yさんはのぞみ発達クリニックに2016年3月より清掃業務にて一般就労している。月に1回の職場訪問を行い、2ヶ月に1回寮職員も同行し、寮と福祉館で情報の共有をした。5月30日に寮と福祉館で合同ケース会議を行った。スタッフの理解もあり定着している。

葛飾区就労支援事業（葛飾区補助事業）

葛飾区障害者就労支援センターと連携し、実習や中間的就労を通じて福祉館利用者の働く意欲の底上げや自信を高め、外部での社会的経験が出来るよう努めた。

具体的には区役所、喫茶ミモザ、カフェチャチャチャ、自転車リサイクル工房における中間的就労、就労支援センターでの実習などがあげられる。

【中間的就労】

実習場所	実習期間
①カフェCHACHACHA	7月4日～7月14日
②カフェCHACHACHA	10月3日～10月13日
③カフェCHACHACHA	11月28日～12月8日
④カフェCHACHACHA	2月27日～3月9日
⑤区役所実習	8月23日
⑥区役所実習	2月24日
⑦ミモザ実習	9月12日～9月16日
⑧ミモザ実習	2月13日～2月17日
⑨ミモザ実習	3月6日～3月10日
⑩リサイクル工房	10月3日～10月13日
⑪リサイクル工房	11月8日～11月17日

4 保健

職員が利用者の日常観察を徹底されていて異常に気がついたときにはすぐに保健担当

に連絡があり対応が速やかに出来た。

①1名入院者がいたが、退院し治療続行しながら仕事に復帰している。

(1) 健康管理

①毎月の体重測定を行い、体重表を配布した。

毎月血圧測定を行い健康状態把握の目安にしている。

②定期健康診断（8月27日）

全員受診（区の健診を受けた方もいる）

結果については家庭に連絡し、再検査及び現在も経過観察中。

区で受けた方も結果を提出してもらった。

(2) 歯科健診（6月7日・1月24日） 歯磨き指導（9月13日・2月14日）

結果をお知らせし治療中の方もいたが、歯磨き指導では全体的に上手に磨けていると医師より評価を受けている。

(3) その他

①機能訓練の必要な利用者（5名と五十肩治療中の1名）を対象にPT（理学療法士）による訓練見直し、先生よりみなさんが頑張っていることがよくわかるが衰えも見られるといわれた。

嘱託医との連携

毎月1回内科相談では、健康診断の結果及び血圧の変動のある人糖尿病の方など体調の悪い人の話を聞いていただき、治療の必要な症状の発見にも繋がった。

衛生管理

細菌検査（検便）は、給食従事者（利用者・職員）月1回）パン従事者（利用者・職員）11月より毎月行うことになった。その他利用者・職員年は1回行っている。

職員の健康管理

11月～12月で年1回健診センターにて実施した。

5 全館行事

宿泊旅行は7月に伊豆修善寺へ行った。伊豆急行の列車とバスの旅で楽しんだ。

還暦を祝う会を4月と12月、成人を祝う会を1月に行った。12月の還暦者は例年だと1月の成人者と一緒にお祝いをしていたが今回は別々におこなった。成人を祝う会では第2部として馬頭琴とギターのコンサートを行った。やまもも祭は、10月30日に行った。東京理科大のイベントと同時期の為か、他館販売出店がゼロであった。来年度の開催日時は検討する。だが、祭自体は天候にも恵まれ来館者も多数で盛況であった。

忘年会は初めてクルージングで行った。乗船もスムーズで出し物は特に行わなかったが、曲に合わせてステージで歌って踊って食事を楽しみながら1年をふりかえった。

毎月月初めにみんなの集まりを行った。毎月、司会の方達が工夫を凝らした扮装で楽しませてくれたり各グループが目標を発表したり、皆勤賞、月間努力賞の表彰をし利用者のモチベーションアップにつなげるようにした。

6 地域交流

【地域交流】

2月3日に南奥戸小学校4年生対象の福祉館見学を実施した。福祉館はどのような場所
でどのような作業をしているのか、障害とは何だろうということを学んでもらった。

今年度では、時期の都合上こちらから南奥戸小学校の方に訪問しなかったが、子ども達
の方から「おりがみをプレゼントしたい」と話があったため利用者自治会の方が代表とし
て受け取っている。交流会以降、アルミ缶回収や館内作業の手伝いに小学生が来館してく
れたりチラシ配りや地域清掃などで道で会うと声をかけてくれるようになった。利用者そ
れぞれが地域の一員であると感じることができている。

8月21日には、パン体験を実施した。計10名の参加があり利用者の方が率先して子ど
も達に教える姿が見られた。

【ボランティアの受け入れ】

地域の方々に福祉施設に対する理解を深めてもらうためボランティア募集を行ったが、
応募はなかった。やまもも祭では83名の方がボランティアとして参加した。介護等体験の
学生や法人の職員が多く参加し、利用者の社会的交流の場となった。ボランティア受け入
れの際には注意事項を提示し、相互に良い学びの機会となるように努めた。

7 利用者自治会

今年度は自治会選挙を行い、新たな役員構成で企画運営をした。主体的に意見交換をし、
他者と協力して運営に取り組むことができた。会計役員の意見により、みんなのあつまり
で活動ごとの会計報告を行った。職員は、一人一人が自治会役員としての自覚を持って活
動できるように援助した。

主な活動

5月9日	利用者自治会選挙
7月21日～22日	宿泊旅行（バスレク・宴会司会・カラオケ）
10月30日	やまもも祭（模擬店出店）
12月19日	還暦を祝う会（会場設営・司会・プレゼント用意）
12月27日	職員送別会（会場設営・司会・プレゼント用意）
1月10日	成人を祝う会（会場設営・司会・プレゼント用意）
3月30日	利用者、職員送別会（会場設営・司会・プレゼント用意）

8 家庭との連携

連絡帳を活用して家族や寮との連携を図った。必要に応じて電話連絡や面談グループホ
ームの利用者は合同処遇会議を行った。

定例家族連絡会 4/13 19人 6/15 10人

4月の家族連絡会では工賃支払いの見直しの話をした。軽作業グループ利用者は工賃がさがることを説明し理解を求めた。

9 リスクマネジメント

- ・パン関係7件、けが2件、寮の清掃関係1件、保健関係2件、サルモネラ菌2件、利用者行方不明、閉館横扉鍵かけ忘れ、服薬それぞれ1件。

- ・自動車事故は9件。バックしたり左折した時にぶつかることが多かった。通所途中の利用者とバイクの自損事故があった。その利用者はその後も車と接触しそうになった為送迎利用とした。

(ヒヤリハット)

- ・利用者が2階から角棒をおとす。

- ・フードフェスタにて購入したナンカツバーガーにプラスチック片の異物が入っていたという苦情の電話があった。電話の内容に不審な点が多くイベント主催者に問い合わせると新規出店者に的を絞った詐欺まがいの疑いがあると聞いた為苦情の対応はしなかった。

10 広報活動

奥戸福祉館の活動を伝える家庭向けの通信は2回発行した。原町かわら版は法人の広報委員と協力して発行した。かわら版の発送作業を受託作業として行っていたが、職員間の引き継ぎがうまくできておらず、完成に時間がかかりまた封入内容に間違いや発送準備での不手際があり原町後援会事務局より苦情があった。

ホームページ、パン工房ももちゃんブログ、フェイスブックを定期的に更新した。

11 防災安全管理

(1) 訓練時は本田消防署へ自衛消防訓練通知書を届け出のうえ実地した。

実施日	種別	訓練内容
4月25日	防災教育	消火器使用について教育。(利用者・職員)
5月23日	避難訓練	火災発生による避難、及び通報訓練。
7月25日	避難訓練	地震発生による避難訓練。
9月26日	避難訓練	火災発生による避難、及び通報訓練。
1月23日	避難訓練	地震発生による避難訓練。
2月27日	防災教育	震災ビデオ上映、避難時の注意点確認(利用者・職員)
3月27日	総合避難訓練	火災発生による総合避難訓練。

(2) 葛飾区地域防災無線の定期通信訓練を行った。(毎月第3水曜日)

(3) 火気施設点検を確実に実施した。

- (4) 防災用伝言ダイヤルにメッセージを吹き込む訓練を行った。(毎月1日・15日)
 (5) 避難経路の見直しを行い、避難時間の短縮に努めた。

12 苦情解決事業

・地域より8件、家族から2件の苦情があった。そのうち1件は看護師の対応についての苦情で区役所に調整をしてもらうことがあった。

販売活動など外部へ出かける活動が増えた為か昨年度より苦情が増えてしまった。苦情を受け付けた際はすみやかに対応し再発防止を講じた。

III 管理運営

1 職員研修

(1) 外部研修・講習会参加実績

研修・講習会・会議名	開催日・場所
販売促進に関する研修	4/15 池袋
F V P いい職場づくり隊	4/22 5/19～5/20 長野県
衛生講座	4/28 葛飾区
統合失調症家族教室	5/16 6/13 葛飾区
サービス管理責任者研修	6/22～23 練馬区
自閉症スペクトラム障害の理解と支援	7/23 飯田橋
F V P いい職場づくり隊	7/29～7/30 静岡県
てんかん基礎講座	8/2～8/3 千代田区
パン展示会	8/3 江東区
ダウン症支援セミナー	8/7 中央区
施設見学研修	8/17 多摩市
施設会計基礎実務研修会	8/19 中央区
F V P いい職場づくり隊	8/20～8/21 千代田区
食品衛生講習	9/7 葛飾区
全国知的障害者関係職員研究大会	9/7～9/9 北海道
行動障害を伴う利用者への支援	9/7 飯田橋
強度行動障害支援基礎講座	9/15 飯田橋
工賃アップセミナー	9/30 都庁
自閉症セミナー	10/1～10/2 墨田区
中堅職員研修	10/3 12/1 1/17 飯田橋
統合失調症家族教室	10/17 11/14 12/12 1/16 2/20 3/6 葛飾区
工賃アップセミナー	10/17 11/15 11/29 12/5

食品表示法研修	1/18 都庁
「高齢化」～知的障害者と認知症～	10/18 葛飾区
強度行動障害支援アドバンス基礎研修	11/5 飯田橋
日中活動支援部会全国大会	11/17 飯田橋
知的障害者の高齢期の支え方	12/5～12/6 千葉県
販路開拓を目指す為のコンプライアンスセミナー	12/8 高崎市
施設見学研修（銀河工房）	12/5 千代田区
施設見学研修（エコーン）	12/22 山梨県
コミュニケーション推進体験ワークショップ	1/12 長野県
施設見学研修（スカイツリータウン事業所）	1/17 文京区
障害者が楽しく自立して生きていくためには	1/20 墨田区
	2/3 葛飾区